

# 発達障害啓発週間

毎年  
4/2~4/8は  
発達障害啓発週間  
です!

2007年国連において、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー（WAAD）」とすることが定められたのを機に、わが国では4月2日からの1週間を「発達障害啓発週間」と定め、広く発達障害についての理解と支援をよびかける活動を進めています。



発達障害啓発イベント 2025 JDDnet大阪企画

## 学校教育における合理的配慮

～子どもたちの豊かな育ちにむけて～

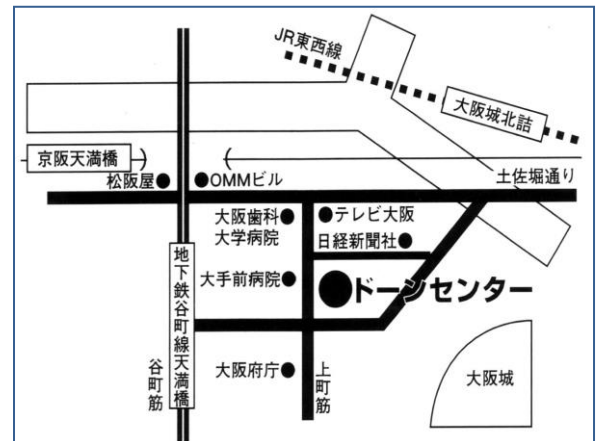
日時：4月6日（日）13:30～16:30（13:15受付開始）

会場：ドーンセンター 4F 大会議室1  
（大阪府立男女共同参画・青少年センター）

参加費：一般 1000円  
（JDDnet会員は、500円）

定員：50名（申し込み先着順）

申込先：裏面 二次元コードからお申込み下さい



### プログラム

13:30 開会 あいさつ

13:35 パネルディスカッション

「学校教育における合理的配慮～子どもたちの豊かな育ちにむけて～」

司会者：本居 宣久 氏（大阪LD親の会「おたふく会」）

パネリスト：井上 育世 氏（大阪LD親の会「おたふく会」）

山田 充 氏（S.E.N.Sの会大阪支部会

・大阪市教育委員会インクルーシブ教育推進室）

岡田 信吾 氏（大阪府臨床心理士会

・医療法人いちえ 有希クリニック）

尾藤 祥子 氏（大阪府作業療法士会・藍野大学）

15:40 休憩

15:50 ディスカッション まとめ

16:30 閉会

主催：日本発達障害ネットワーク大阪（JDDnet大阪）

後援：日本発達障害ネットワーク（JDDnet）

2024年4月からの「改正障害者差別解消法」の施行により、学校も公立・私立を問わず、どの学校においても、障害のある子どもたちに必要な「合理的配慮」を提供することが義務になりました。しかし、現状は、障害のある子どもたち一人一人がニーズに応じた教育を受けるための必要な合理的配慮が提供されているとは言い難い状況です。なぜなのでしょう。何が障壁になっているのでしょうか、何が不足しているのでしょうか。現場での取り組みに学び、学校教育における合理的配慮の充実にむけて、みなさんと一緒に考えていきたいと思えます。

## 申込方法

申込先 : 右記二次元コード (QRコード) から  
お申込みください。



- ※ 参加費は、当日会場受付にてお支払いください。
- ※ 定員 (50名) になり次第締め切ります。
- ※ お問い合わせ : [jddnet.osaka.20240915@gmail.com](mailto:jddnet.osaka.20240915@gmail.com)

※Ctrl+クリックでもリンクを開けます

日本発達障害ネットワーク(JDDnet)は、発達障害関係の全国および地方の障害者団体や親の会、学会・研究会、職能団体などを含めた幅広いネットワークで、我が国における発達障害を代表する全国組織として従来制度の谷間に置かれ支援の対象となっていなかった、あるいは適切な支援を受けられなかった、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等の発達障害のある人および家族の権利と利益の擁護者として、理解啓発・調査研究・政策提言等を行い、発達障害のある人の自立と社会参加の推進に向けて活動を行っています。



JDDnet 大阪は、下記団体が参加して、大阪でのJDDnet エリア活動を進めています。

### 日本発達障害ネットワーク大阪(JDDnet大阪) 参加団体

大阪府臨床心理士会 大阪府作業療法士会 日本感覚統合学会 日本LD学会  
S.E.N.Sの会大阪支部会 大阪自閉スペクトラム症協会  
大阪LD親の会「おたふく会」 大阪LD・軽度発達障害親の会「翼」  
＜オブザーバー＞ 大阪府発達障がい者支援センター  
大阪市発達障がい者支援センター  
堺市発達障害者支援センター